

R8年度 壱岐市立沼津小学校 学力向上プラン

沼津小学校 学校教育目標

優しさとたくましさをもち、自ら考え、未来を生き抜く力を備えた児童の育成



R8年度 沼津小学校 研究主題

自ら考え、表現する力を育む算数科の授業づくり
～「つかむ」「しらべる」過程の工夫・改善を通して～

—研究仮説—

算数科において、問いを生む課題設定の工夫と自己決定して考えを表現する場を設定することで、子供たちは自ら考え表現することができるであろう。

—目指す児童の姿—

- ① 学び方を身に付け、自ら考える児童
- ② 課題解決に向けて、自分の学び方を自己決定できる児童
- ③ 自分の考えを意欲的に表現する児童

授業改善

○問題解決的な学習過程の徹底と探求的な学習の推進による授業の充実

- ・「つかむ」「しらべる」の過程において、問題提示を工夫したり、解決方法を自己決定する場を設定したりする。
- ・児童の主体的な学びを実現する授業実践に努める。

○算数科における書く活動の充実

- ・自分の考え（問題を解く思考の過程）を表現できるよう、絵や図や文で書き表す時間を十分に確保する。

○定期的な授業公開・協議

- ・全学年での授業公開を行い、授業チェックシートを活用して授業改善を図る。

○効果的な ICT 機器の活用

- ・タブレットや電子黒板を活用して児童の考えを見える化し、対話の活性化に役立てる。
- ・タブレットを活用し、児童の学び方の幅を広げる。

○教師の授業力向上のための研修

- ・壱岐市教育委員会による授業改善研修の機会を設け、授業力向上に努める。

学習の基盤づくり

○チャレンジタイムによる基礎・基本指導の徹底

- ・週1回15分のチャレンジタイムを設定し、学力の定着を図る。
- ・「みらいシード」のドリルパークを活用し、基礎基本の定着を図る。

○ガイド学習の実践推進

- ・ガイドの見直しと実践を図り、学び方を身に付けさせる。
- ・単式学級もガイド学習に取り組み、学習の進め方を身に付けさせる。

○共通の学習の約束

- ・持ち物や机上の整理など、全学年同じ約束を示し、徹底する。
- ・板書やノートの書き方を統一し、徹底する。

○学力テストの分析と活用

- ・ベネッセテストを年に2回実施し、7月と1月に分析を行う。結果は授業や、チャレンジタイム指導に生かす（評価等）。

学習環境の整備

○学びを支える掲示物の作成

- ・算数掲示板に、実生活に即した内容など児童の興味や関心を高める掲示をする。
- ・見通しの系統や学びの足跡を学級に掲示し、学習に活用する。

○読書の推進

- ・学びを支える読みの力の育成ため、読書タイムの実施及び、読書量アップのための取組（年間100冊達成賞等）を実施する。

家庭との連携

○家庭学習の手引きの活用

- ・児童アンケートに手引きの項目を入れ、家庭学習の状況を把握して指導に生かす。

○家庭学習の見直し

- ・学期毎に家庭学習の内容の検討を行い、家庭への定期的な働きかけを行う。